

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
1	4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の学習を始めよう	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1年間の道徳科の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何か考える。 1 中学1年のときの道徳の学習を振り返る。 ○中学1年の学習で、心に残っていることを書く。 2 教科書6～11ページを読んで、これからの道徳授業の見通しをもつ。 ○教科書8・9ページを読み、自分が大切だと思うキーワードを22の中から五つ選びましょう。付箋に書き、それを四つの視点に分類して、気づいたことを発表する。 ◎この1年間で、特に考えていきたい、学んでいきたい、もっと伸ばしていきたいと思うキーワードを「まなびの記録」に書き、それを選んだ理由をグループで紹介し合いましょう。 ○教科書10・11ページの「道徳 道案内」を読んで、1年間の学習のまとめりやテーマを確認する。
2	4月	【A(1) 自主、自律、自由と責任】 2 カラカラカラ	電車の中で転がる空き缶を拾うか迷う主人公の姿を通して、自ら考えて行動するとはどういうことかについて考えさせ、物事を自主的に考え、誠実に実行しようとする判断力を育てる。	自ら考えて行動するとは、どういうことか考える。 1 したほうがいいとわかっているのにできなかった経験を話し合う。 2 「カラカラカラ」を読んで考える。 ○男のひと目が合ったとき、達也が視線をそらしたのは、どんな思いがあったからでしょう。 ◎男の人の背中を目で追いかけていたとき、達也は、どんなことを考えていたでしょう。 ○自ら考えて行動するとは、どういうことでしょう。
3	4月	【A(4) 希望と勇気、克己と強い意志】 3 アイヌの歌を歌いたい	本物のアイヌ民謡を歌えるようになりたいという目標を実現したアイヌ民謡歌手の川上さんの姿から、何かをやり遂げようとするとき、その根底にあるのはどんな思いかを考えさせ、より高い目標をもち、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする心情を育てる。	何かをやり遂げようとするとき、その根底には、どんな思いがあるか考える。 1 アイヌ民謡を視聴し、感想を出し合う。 2 「アイヌの歌を歌いたい」を読んで考える。 ○アイヌ文化を紹介するイベントに出演したとき、川上さんは、どんな考えだったのでしょうか。 ◎川上さんの、「誰もが楽しめるようなライブをしたい」という考えは、どんな思いから生まれたのでしょうか。 ○何かをやり遂げようとするとき、その根底には、どんな思いがあるでしょう。
4	5月	【B(9) 相互理解、寛容】 4 ジコチュウ	クラスメートの言動を自己中心的だと決めつけていた生徒の物語を通して、考え方や立場の違いを理解し合うためにはどんなことが大切なのかを考えさせ、互いの考えを伝え合い、それぞれの立場を思いやって尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。	考え方や立場の違いを理解し合うためには、どんなことが大切なのか考える。 1 「ジコチュウ」という言葉をどのような場面で相手に使っているかを振り返る。 2 「ジコチュウ」を読んで考える。 ○「私」は、佐々木君のどんなことに対して、「ジコチュウ」だと思っていたのでしょうか。 ◎手紙を読んだ「私」は、佐々木君に、どんな言葉をかけようと思ったでしょう。 ○考え方や立場の違いを理解し合うためには、どんなことが大切なのでしょう。
5	5月	【D(19) 生命の尊さ】 5 命が生まれるそのときに	詩「いのちの音」と、出産を撮影するフォトグラファーの文章や写真を通して、「生きている」ことの尊さについて考えさせ、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	生きていることの尊さについて、考える。 1 「生きているなあ」と実感するのはどんなときかを考える。 2 「命が生まれるそのときに」を読んで考える。 ○「いのちの音」を読んで、思ったことや感じたことを発表し合いましょう。 ◎「どんなときも『生きている』と感じる姿を見て尊いと思う自分でありたい。」という言葉には、繁延さんのどんな思いが込められているでしょう。 ○生きていることの尊さについて、考えましょう。
6	5月	【B(6) 思いやり、感謝】 6 気づかなかったこと	人々の嫌な面ばかりを見ていた生徒が、周りにあふれる思いやり気づく姿を描いた漫画を通して、日々の生活で人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他者への思いやりや感謝の気持ちをもとうとする心情を育てる。	日々の生活で、人と関わりながら生きていくのに大切なことは、何か考える。 1 人の悪いところに目が向いてしまうときについて考える。 2 「気づかなかったこと」を読んで考える。 ○「こんな世の中、大嫌い。」と思っていた、「私」の心の中を想像する。 ◎「私」が気がついた「すごいこと」とは、何でしょう。 ○日々の生活で、人と関わりながら生きていくのに大切なことは、何でしょう。
7	5月	【A(3) 向上心、個性の伸長】 7 嫌われるのを恐れる気持ち	他人に嫌われることを恐れ、本心を表に出せないことに悩む生徒の相談を通して、自分らしく生きるとはどういうことかを考えさせ、自己を見つめ、弱さも自分の特長であることを肯定的に受け止め、その特長を伸ばしてよりよく生きようとする実践意欲と態度を育てる。	自分らしく生きるとは、どういうことか考える。 1 自分の性格を嫌だと思ったことがあるか、どんなところが嫌かを振り返る。 2 「嫌われるのを恐れる気持ち」を読んで考える。 ○「嫌われるのを恐れる」ということは、人間の生き方として、ひきょうで臆病なこと」なのでしょうか。下の図(「そうだと思う。」「そうだと思わない。」の数直線)の、自分の考えと合う位置に矢印を書き込み、理由といつしよに発表する。 ○あなたは、この手紙を書いた「私」に共感できるところがあるでしょうか。それは、どんなところでしょう。 ○この手紙を書いた「私」に、あなたの考えを伝えるとしたら、どんなことを伝えますか。 ◎あなたは、自分らしく生きるとは、どういうことだと感じたでしょう。
8	6月	【C(11) 公正、公平、社会正義】 8 明日、みんなで着よう	「ピンクシャツデー」といういじめ反対運動を世界に広めたカナダの生徒たちの実話を通して、誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切かについて考えさせ、いじめや差別、偏見のない社会を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。	誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切なのか考える。 1 「ピンクシャツデー」について紹介する。 2 「明日、みんなで着よう」を読んで考える。 ○学校がピンク色に染まったのは、誰の、どのような思いがあったからでしょう。 ◎学校がピンク色で染まったのを見て、前日にいじめられていた男子生徒は、どんなことを思ったでしょう。 ○誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切でしょう。
9	6月	【B(8) 友情、信頼】 9 「いじり」って(まなびをプラス)	「いじり」について話し合うことを通して、友情を育むために大切なことは何かを考えさせ、相手の個性を認め、相手に対する敬愛をもとに、よりよい関係を築こうとする判断力を育てる。	友情を育むために大切なことは、何か考える。 1 「いじり」という言葉に対して、プラスとマイナス、どちらのイメージをもつか、クラスの傾向を確認する。 2 「『いじり』って」を読んで考える。 ○あなたが思う「いじり」とは、どんな行為や状況のことでしょう。 ○問いに答えながら、もう一度、「いじり」とは何なのか、話し合いましょう。 ◎友情を育むために大切なことは、何でしょう。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
10	6月	【C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実】 10 テニス部の危機	テニス部の活動方針を巡って対立した生徒の話を通して、集団の一員として、よりよくあるために大切なことは何かを考えさせ、集団として活動する意義と、よりよい集団であるためにどうすればよいかを考える判断力を育てる。	集団の一員として、よりよくあるために大切なことは、何か考える。 1 自分のクラスや部活の目標を確かめ、発表する。 2 「テニス部の危機」を読んで考える。 ○テニス部の危機を乗り越えるために、白石さんと木戸さんは、どうすればよいでしょう。次のステップに沿って考えてみましょう。 ❶ 白石さんと木戸さん、それぞれの思いを洗い出す。 ❷❶ で洗い出したことをもとに、解決策を考える。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
11	7月	【B(8)友情、信頼】 11 松葉づえ	松葉づえを突いて生活する転校生に親切にしていたクラスメートたちが、しだいに態度を変えてしまう姿を通して、「友情」とはどのようなものかを考えさせ、心から信頼し、助け合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。	「友情」とは、どういうものか考える。 1 友達がいてよかったと思った経験を出し合う。 2 「松葉づえ」を読んで考える。 ○将棋を指した後、大野君の感謝の言葉を、「僕」が素直な気持ちで聞けなかったのは、どんな思いがあったからでしょう。 ◎伊藤君の言葉が「僕」の心に大きく響いたとき、「僕」はどんなことを考えていたでしょう。 ○「友情」とは、どういうものだと思いますか。
12	7月	【D(22)よりよく生きる喜び】 12 人って、本当は？	孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を通して、人のもつ強さや弱さを見つめながら、よりよく生きるために大切にしたいことを考えさせ、自分の生き方をよりよいものにしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	自分のもつ強さや弱さを見つめながら、よりよく生きるために大切にしたいことを考える。 1 人間の心には、どんな面があるかを考える。 2 「人って、本当は？」を読んで考える。 ○あなたは、孟子と荀子の考え方のどちらのほうに、より納得がいくでしょうか。下の図のように矢印で示し、理由といっしょに発表する。 ◎孟子、荀子の考えをもとに、自分の生き方を見つめてみましょう。あなたは、よりよく生きるために、どんなことを大切にしたいですか。
○1学期を振り返った評価(4～7月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意義や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				
13	9月	【B(7)礼儀】 13 礼儀は何のため	登場人物が二つの場面で考えたことを通して、礼儀にはどんな心が表れるのかを考えさせ、礼儀の意義を考えた言動をしようとする判断力を育てる。	礼儀には、どんな心が表れるのか考える。 1 今、自分は「礼儀」をどのようなものだと考えているか、考える。 2 「礼儀は何のため」を読んで考える。 ○❶で、実波さんは、どんなことに疑問を抱いているのでしょうか。 ○❶を通して、あなたは、挨拶とは、どのようなものだと感じたでしょう。 ○❷で、実波さんは、どんなことに疑問を抱いているのでしょうか。 ○❷を通して、あなたは、挨拶とは、どのようなものだと感じたでしょう。 ◎礼儀には、どんな心が表れるのでしょうか。❶❷で考えたことをもとに、考えましょう。
14	9月	【C(13)勤労】 14 段ボールベッドへの思い	避難者の健康を考えて段ボールベッドを考案し、設計図を無償で公表した会社の人の話を通して、働くことのさまざまな意義について考えさせ、勤労を通じて社会に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	働くことのさまざまな意義について、考える。 1 人は何のために働くのか、これまでに考えてきたことを振り返る。 2 「段ボールベッドへの思い」を読んで考える。 ○段ボールを作る会社の人が大事にしていることの中で、印象に残ったのは、どんなことですか。 ◎あなたが、将来働くときに大切にしたいのは、どんなことですか。 ○働くことのさまざまな意義について、考えましょう。
15	9月	【C(12)社会参画、公共の精神】 15 我が町の消防団	消防団に参加する巻出さんの姿を通して、社会の一員として地域に関わっていくには、どんなことが大切なのかについて考えさせ、自分が暮らす地域や社会の中で、協力し合って生きていこうとする心情を育てる。	社会の一員として地域に関わっていくには、どんなことが大切なのか考える。 1 地域の方が取り組んでいる活動にどんなものがあるかを出し合う。 2 「我が町の消防団」を読んで考える。 ○巻出さんが消防団に参加したとき、初めは、どんな気持ちだったのでしょうか。 ◎巻出さんの「誇り」は、どんな思いでできているでしょう。 ○社会の一員として地域に関わっていくには、どんなことが大切なのでしょう。
16	9月	【D(20)自然愛護】 16 僕の職場は富士山です	富士山のガイドをする近藤光一さんが自身の活動や思いについて述べた文章を通して、自然を守るとはどういうことかについて考えさせ、自然の崇高さを感じ、自然環境を大切にすることの意義を理解しようとする心情を育てる。	自然を守るとは、どういうことか考える。 1 富士山に対するイメージや自然からもたらされる恵みについて共有する。 2 「僕の職場は富士山です」を読んで考える。 ○近藤さんが、登山客にごみを入れる袋を渡さないのは、どんな思いがあるからでしょう。 ◎毎日きれいな水が飲めるのをあたりまえだと思っていたときの近藤さんと、今の近藤さんの、富士山に対する思いの違いを考えましょう。 ○自然を守るとは、どういうことでしょう。
17	10月	【A(2)節度、節制】 17 夢中になるのは悪いこと？	ネット依存に関する解説やオンラインゲームに夢中になる生徒の物語を通して、インターネットとうまく付き合っていくための習慣について考えさせ、節度を守り、節制を心がけた生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	インターネットとうまく付き合っていくための習慣について考える。 1 (まなびの準備)自分のインターネットの利用状況について振り返る。 2 「夢中になるのは悪いこと？」を読んで考える。 ○インターネットの利用により、日常生活に支障を来していることはありませんか。教科書85ページ(まなびの準備)で書き出した、インターネットの利用を見直して、考えてみましょう。 ○「私」にとって、バレーボールとインターネットの違いは、何でしょう。 ○あなたなら、このような状態になった「私」に、どんなアドバイスをしますか。 ◎インターネットとうまく付き合っていくための習慣について考えましょう。
18	10月	【B(9)相互理解、寛容】 18 見えない誰かと(まなびをプラス)	同じサッカーチームを応援する立場ながら、インターネット上で批判し合うAさんとBさんの事例を通して、人とのコミュニケーションの取り方について考えさせ、相手の立場や考えを理解し、適切に考えを伝えようとする実践意欲と態度を育てる。	人とのコミュニケーションの取り方について、考える。 1 インターネット上で、誤解や擦れ違いを経験したことについて、振り返る。 2 「見えない誰かと」を読んで考える。 ○AさんとBさんは、どうしてこのような状況になったのでしょうか。どんなところに原因があるのか、インターネットを介したコミュニケーションの特性も踏まえて、考えましょう。 ○その後のAさんは、自分と意見が合わない人を、全てブロックするようになりました。Aさんのこのような考え方や行動の、メリットとデメリットを考えましょう。 ◎これからの時代を生きる一人として、他者とコミュニケーションを取るときには、どのような考え方が必要でしょう。
19	10月	【D(19)生命の尊さ】 19 つながる命	脳死となった女兒の両親が、女兒の臓器提供を決定したことを取り上げた新聞記事を通して、「命」について考えさせ、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	命について、考える。 1 臓器移植について確認する。 2 「つながる命」を読んで考える。 ○Aちゃんの家は、どんな思いで臓器提供することを決めたのでしょうか。 ◎「Aちゃんが繋いだその命」という言葉には、お父さんのどんな思いが込められているでしょう。 ○今日考えたことをもとに、命について、考えましょう。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
20	10月	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】 20 木桶仕込みのしょうゆを伝える	昔ながらの方法で醤油造りや木桶作りに取り組み続ける山本さんの考えを通して、伝統的な文化を受け継いでいくために大切なのはどんなことかを考えさせ、我が国の伝統と文化を継承し発展させていこうとする心情を育てる。	伝統的な文化を受け継いでいくために大切なのは、どんなことか考える。 1 日本の伝統や文化について考える。 2 「木桶仕込みのしょうゆを伝える」を読んで考える。 ○山本さんは、昔ながらのしょうゆ造りや木桶作りの、どんなところに魅力を感じているでしょう。 ◎山本さんが、しょうゆ造りと共に伝えたいのは、どんなことでしょう。 ○伝統的な文化を受け継いでいくために大切なのは、どんなことでしょう。
21	11月	【C(10)遵法精神、公德心】 21 民主主義と多数決の近くて遠い関係	民主主義における多数決の考え方について知り、集団や社会で何かを決めようとするときに大切なことは何かを考えさせ、自他の権利を大切にしたい法やきまりの在り方を理解し、それらを進んで守ろうとする判断力を育てる。	集団や社会で何かを決めようとするときに大切なことは、何か考える。 1 学級で何かを決定するとき、どんな方法で決定しているかを思い起こす。 2 「民主主義と多数決の近くて遠い関係」を読んで考える。 ○『不思議の国のアリス』のほうが、みんなにとって望ましいのは、どんな考えからでしょう。 ◎「好きな案」と「みんなにとって望ましい案」との違いは、何でしょう。 ○集団や社会で何かを決めようとするときに大切なことは、何でしょう。
22	11月	【C(10)遵法精神、公德心】 22 砂漠でサバイバル(まなびをプラス)	不時着した砂漠から生還するために役立つものを話し合いで決める活動を通して、複数の人と話し合って何かを決めることの意義や効果について考えさせ、自分も議論に参加し、互いの考えを尊重し、決めたことに対して、責任をもって従う実践意欲と態度を育てる。	複数の人と話し合って何かを決めることの意義や効果について、考えを深めよう。 1 前の時間に学んだ、全体にとってよりよい案を考える話し合いの大切さを確認する。 2 「砂漠でサバイバル」を読んで考える。 ○次の手順で考えていきましょう。 ①12の品物を役立つ順に順位をつける。 ②各自で考えた順位を、グループで発表し合い、グループでの順位を決める。 ③全員が納得する話し合いができたか、グループで振り返る。 ◎今日の学びで気づいたことや感じたことは、どんなことでしょう。 ○複数の人と話し合って何かを決めることの意義や効果について、考えを深めましょう。
23	11月	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】 23 私の町	郷土の祭りや町並みなどに対する生徒の思いを通して、ふるさとを思う心について考えさせ、郷土の伝統と文化を継承することに努めようとする心情を育てる。	ふるさとを思う心について、考える。 1 自分の住む地域の特色や地域行事などについて共有する。 2 「私の町」を読んで考える。 ○観光客に声をかけられた後、家の中の梁と柱がいつもと違って見えた、「私」の心の中を想像しよう。 ◎あなたの住む地域には、どんな伝統や文化があるでしょう。それらを守り発展させるために大切なことは、何でしょう。 ○ふるさとを思う心とは、どういう心でしょう。
24	11月	【B(9)相互理解、寛容】 24 北川さんの悩み	地域清掃への取り組みについて異なる考え方の二人が問題解決した話を通して、立場の異なる人と関わるときに大切なことは何かについて考えさせ、互いの考えを真摯に伝え合い、相互理解に努める判断力を育てる。	立場の異なる人と関わるときに大切なことは、何か考える。 1 立場や考え方が異なることで、誰かと対立した経験を思い出す。 2 「北川さんの悩み」を読んで考える。 ○北川さんと関さんの言い分を整理する。 ○このトラブルを解決するために、北川さんと関さんは、どんな話し合いをしたのでしょう。二人の気持ちを想像しながら、実際に話し合ってみましょう。 ○話し合った結果、あなたは、お互いがわかり合うためには、どんなことに気をつけたいと思いましたか。 ◎立場の異なる相手と関わるときに大切なことは、何でしょう。
25	12月	【C(18)国際理解、国際貢献】 25 境界線を溶かすチョコレート	ガーナでチョコレート作りを産業にしたいと奮闘する田口愛さんの姿を通して、他国の人々と共に生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他国を尊重し、国際的視野に立って世界の発展に寄与しようという心情を育てる。	他国の人々と共に生きていくのに大切なことは、何か考える。 1 チョコレートの製造などについて、知っていることを共有する。 2 「境界線を溶かすチョコレート」を読んで考える。 ○「チョコレート？ この辺りにはないよ。」と言われたとき、田口さんが感じたショックは、どのようなものだったのでしょうか。 ◎「境界線を溶かすチョコレート」という言葉には、田口さんの、どんな思いが込められているでしょう。 ○他国の人々と共に生きていくのに大切なことは、何でしょう。
26	12月	【C(11)公正、公平、社会正義】 26 カメルーン生まれ、日本育ち	自身の経験から、偏見について問うている漫画を通して、差別や偏見のない社会をつくるために大切なことは何かを考えさせ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会を実現しようとする判断力を育てる。	差別や偏見のない社会をつくるために大切なことは、何か考える。 1 「偏見」という言葉に対する自分のイメージを確認する。 2 「カメルーン生まれ、日本育ち」を読んで考える。 ○偏見とは、どういうものでしょう。 ○この話を読んで、あなたがいちばん心に残ったのは、どんなことでしょう。 ○あなたも、会ったことがない人に思い込みや偏見を抱き、決めつけてしまったことはないでしょうか。それは、どんなときだったでしょう。 ◎誰もが偏見をもたない社会が実現できたとき、私たちの社会は、どんな社会になると思いますか。
27	12月	【C(11)公正、公平、社会正義】 27 「尊重」の本質を探ろう(まなびをプラス)	教科書に示された九つの問いをヒントに、「尊重」の本質について他者と語り合うことを通して、社会の中で他者とよりよく関わっていくことについて考えさせ、一人一人が尊重される社会をつくるための判断力を育てる。	「尊重」の本質について友達といっしょに考え、社会の中で、他者とよりよく関わっていくことにつなげよう。 1 「尊重」という言葉の意味を共有する。 2 「『尊重』の本質を探ろう」を読んで考える。 ○次の手順で、「尊重」とはどのようなものか、その本質について考えてみましょう。 ①グループになって、自分は、どんなときに「尊重できた。」と思ったか、または、どんなときに「尊重された。」と感じたか、経験を話し合う。
		○2学期を振り返った評価(9～12月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意義や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。		
28	1月	【A(3)向上心、個性の伸長】 28 優しさの光線	将来の夢が見えず、自信を失っている生徒の心を描いた物語を通して、自分のよさを見つめさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする心情を育てる。	自分のよさを見つめよう。 1 将来に対する楽しみや不安を共有する。 2 「優しさの光線」を読んで考える。 ○将来の夢について、「まだ、わからないんです。」と答えたとき、翔は、どんな気持ちだったでしょう。 ◎空を見上げたとき、翔は、どんなことを考えていたでしょう。 ○自分のよさを見つめましょう。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
29	1月	【A(5)真理の探究、創造】 29 スカイツリーにかけた夢	東京スカイツリーの設計士の、物事を追究する姿を通して、新しいものを生み出していくときに大切なことは何かについて考えさせ、真理を探究し、新しいものを生み出そうとする心情を育てる。	新しいものを生み出していくときに大切なことは、何か考える。 1 スカイツリーについて、知っていることを出し合う。 2 「スカイツリーにかけた夢」を読んで考える。 ○東京スカイツリー建設の依頼が来たとき、吉野さんは、どんなことを考えたでしょう。 ◎吉野さんが、厳しい条件に合わせ、新しいものを造りあげたのは、どんな思いに支えられたからでしょう。 ○新しいものを生み出していくときに大切なことは、何でしょう。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
30	1月	【D(22)よりよく生きる喜び】 30 遠く離れた人に会いたい	分身ロボット「OriHime」を開発した吉藤健太朗さんについて書かれた文章から、自分の弱さと向き合い生きていくことについて考えさせ、弱さを乗り越え、よりよく生きていこうとする心情を育てる。	自分の弱さと向き合い、生きていくことについて、考える。 1 「ここが自分の弱さだなあ」と思ったことについて振り返る。 2 「遠く離れた人に会いたい」を読んで考える。 ○吉藤さんが孤独から抜け出すことができたのは、どんなことに気がついたからでしょう。 ◎吉藤さんが、「自分が生きていく理由」を見いだすことができたのは、どうしてでしょう。 ○自分の弱さと向き合い、生きていくことについて、考えましょう。
31	2月	【D(21)感動、畏敬の念】 31 宇宙の始まりに思いを寄せて	天文学者の大内正己さんが、新しい天体を発見したときの思いや、宇宙との出会いについて述べた文章を通して、「感動する心」を見つめさせ、人間の力を超えるものに対する感動や畏敬の念を大切にしようとする心情を育てる。	感動する心を見つめよう。 1 ヒミコの想像図を見て、感想を出し合う。 2 「宇宙の始まりに思いを寄せて」を読んで考える。 ○あなたがこれまでに感動したことを思い出す。あなたの心を動かしたのは、どのようなものですか。 ◎感動は、人に、どんな力を与えようと思いますか。 ○感動する心を見つめましょう。
32	2月	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 32 異なり記念日	「異なり記念日」に込めた筆者の家族に対する思いを通して、家族のつながりとはどんなものかについて考えさせ、家族の在り方を見つめ、よりよい家族関係を築いていこうとする心情を育てる。	家族のつながりとは、どんなものか考える。 1 自らの考える家族のよさについて振り返る。 2 「異なり記念日」を読んで考える。 ○陽道さんは、立ち尽くしていた「永い数秒」の間、どんなことを思っていたでしょう。 ◎陽道さんは、どんな考えで「異なり記念日」という言葉を使ったのでしょうか。 ○家族のつながりとは、どんなものでしょう。
33	3月	【D(19)生命の尊さ】 34 泣きすぎてはいけない	亡くなった祖父から孫へのメッセージを通して、「生きる」ということについて考えさせ、自分の命の大切さを自覚し、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	「生きる」ということについて、考える。 1 自分の命はどんなものとつながっているか、想起する。 2 「泣きすぎてはいけない」を読んで考える。 ○「おじいさんから もらっていた／命の バトン」とは、どのようなものでしょう。 ◎「泣いてもいいけど／泣きすぎてはいけない」(教科書168ページ4・5行目)という言葉には、どんな思いが込められているでしょう。 ○「生きる」ということについて、考えましょう。
34	3月	【内容項目を限定しない】 35 一年間の学びを振り返ろう	これまで記入した「まなびの記録」や花火師の松井の子さんのルールから、1年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	この1年間で学んだことを振り返ろう。 1 第1教材を見ながら、本時の目的を確認する。 2 「まなびの記録」を見返し、1年間の道徳の授業を振り返る。 ○この1年間で、特に心に残った学びを三つ挙げ、どうして心に残ったのかを書いてみましょう。 ○自分はこの1年間でどのように成長したか、今の自分を見つめてみましょう。 ○これからの自分について考えましょう。
○3学期を振り返った評価(1～3月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意義や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				